



今年の夏に釜石に出張した。生まれ故郷から比較的近いにもかかわらず、初めて釜石を訪問した。東北新幹線で新花巻の駅に行き、そこから宮沢賢治が銀河鉄道の夜のモチーフにしたという釜石線を使って行った。釜石に近づけば大震災の影響があるかなという私の予想と異なり、沿線には震災のダメージは残っていなかった。釜石駅に着いても震災の影響を実感できなかった。もう1年半くらい経っているので、復旧したのかとも思ったくらいだった。

約束の時間まで1時間くらいあるので、会社まで歩いて行くことにした。地図によると、会社に行くには街の中心の市役所や釜石港を通って行くはずだった。しかし、繁華街に向かってははずだったのに、次第に建物が減り遠くまで見渡せるようになってしまった。津波で町中の建物が流されてしまったのだとようやく気が付いた。建物の残骸である瓦礫が撤去されたので、大災害の跡は薄れかけていたのであるが、そこにあった商店も飲食店も仕事場も皆流されていた。ずっと釜石に住んでいた人にとっては非日常な状態がまだ続いていた。本屋さんだったと思いき建物は撤去できずに放置されたままだった。その中を覗いてみると、太い鉄骨が垂直に曲がっていた。

会社に行くと、従業員の皆さんは元気に働いているようであった。従業員の人的被害は少なかったそうであるが、それでも釜石市だけでも1千人以上の方が亡くなったり行方不明になったりしているの、友人や家族などが被害にあった方もおられるだろう。日本では海岸地方に多くの人が暮らしているので、水産業はやはり重要産業である。復興には人の力が欠かせないので、地元の人

を呼ぶ産業は大切である。缶詰会社もその一翼を担っていると感じた。

釜石への訪問のあと、この秋に米国FDAの日本の食品工場への査察が始まり、私も全国を旅することになった。瀬戸内やオホーツクの穏やかな美しい海を眺めていると、ありふれた感想ではあるが、「なして」と思ってしまった。
(研究所次長 戸塚英夫)

〈2012年9月の主な業務〉

試験・研究・調査

1. トランス脂肪酸に関する研究
2. 果実・野菜類の品質成分に関する調査
3. スープ缶詰の酸味低減
4. 凍結乾燥芽胞の耐熱性測定
5. 市販品のAwとpH測定
6. レトルト熱分布に関する研究

依頼試験

新規受付26件、前月より繰り越し13件、合計39件。うち完了21件、来月へ繰り越し18件。

主要項目：貯蔵試験、異物検定、変色原因究明、耐熱性試験、変敗原因究明、菌株同定、熱伝達測定、容器密封性評価、かたさ測定、試製、研修。

FDA登録支援事業

新規受付2件、前月より繰り越し3件、合計5件。うち完了3件、来月へ繰り越し2件。

主要項目：施設登録、殺菌条件申告、英文証明書作成。

その他

1. FDA会員工場査察立会（7工場）
2. 災害備蓄用品専門委員会出席
3. インターネットサービス
4. 図書管理、チルド食品研究会準備
5. 会員サービス（技術相談、見学対応）他